

平成 19 年 度

B ライセンス学科試験問題

受 験 番 号					
---------	--	--	--	--	--

氏 名	
-----	--

平成 19 年 6 月 30 日 (土)

九 州 柔 道 協 会

- [1] 次の文は、講道館試合審判規定に記されている礼法の趣旨です[]
の中に適語を記入しなさい。(10点)

礼は、人と交わることに当たり、まずその人の[]を尊重し、これに敬意を表することに発し、人と人との交際をととのえ、[]を保つ道であり、礼法は、この精神を表す作法である。精力善用・[]の道を学ぶ柔道人は、内に礼の精神を[]、外に礼法を[]ことが肝要である。

- [2] 講道館柔道「柔の形」の、[第一教][第二教]について技名称を、演技の順に下記の語群から選んで各[1]~[5]に記号で記入しなさい。(10点)

[第一教] [1]・[2]・[3]・[4]・[5]

[第二教] [1]・[2]・[3]・[4]・[5]

語群 あ、肩 廻 い、両肩押 う、肩 押 え、切 下 お、片手取
か、突 出 き、斜 打 く、片手拳 け、腮 押 こ、両手取

- [3] 次の文は、国際柔道連盟試合審判規定の延長戦（ゴールドデンスコア）について述べたものです。[]の中に適語を記入しなさい。(20点)

延長戦（ゴールドデンスコア）の試合時間は、元の試合と同じとする。

試合時間が終了したなら主審は[]と宣告し試合を一旦[]させる。

試合者は[]の位置に戻る。得点表示板と[]がリセットされ、主審は通常と同様に直ちに[]を宣告し、試合を再開する。元の試合終了と延長戦（ゴールドデンスコア）の開始の間に、[]はないものとする。

延長戦（ゴールドデンスコア）では、試合者の間の最初の[]で勝敗が決定する。試合者の一方が何らかの形で[]にたち次第、試合は終了する。

延長戦（ゴールドデンスコア）が、何れの試合者にも[]がなく終了した場合には、勝敗は、[]によって決定される。

[4] 次の禁止事項に与えられる反則の名称を、A []には、講道館柔道試合
審判規定に、B []には、国際柔道試合審判規定に基づいて記入しなさい。

(20点)

(1) 極端な防御姿勢をとること A []

B []

(2) 寝技に引き込むこと A []

B []

(3) 肘関節以外の関節をとること A []

B []

(4) 故意に相手を場外に出すこと A []

B []

(5) 試合中に無意味な発声をする事 A []

B []

[5] 次の講道館柔道試合審判規定・少年規定における禁止事項に与えられる反則の名称
を[]の中に記入しなさい。(20点)

(1) 「立ち勝負」の時

ア 相手の後ろ襟、背部又は帯をにぎること []

イ 両膝を最初から畳について背負投を施すこと []

ウ いきなり相手の足(又は脚)をとること []

(2) 関節技及び三角絞を用いること []

(3) 次の技を施すこと

ア 蟹 挟 []

イ 無理な巻き込み技 []

ウ 相手の頸抱えて施す大外刈・払腰など []

エ 双 手 刈 []

オ (注) 小学生の場合は、裏投を禁止する []

(4) 固技などで、頸の関節及び脊椎に故障を
及ぼすような動作をすること []

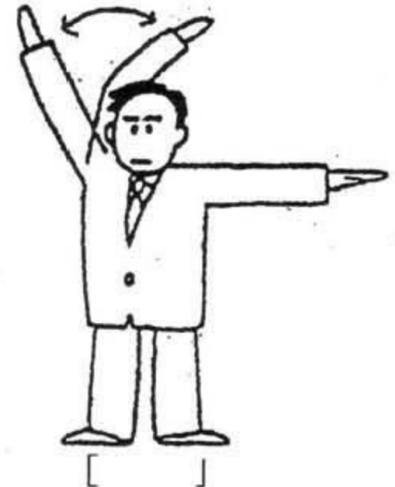
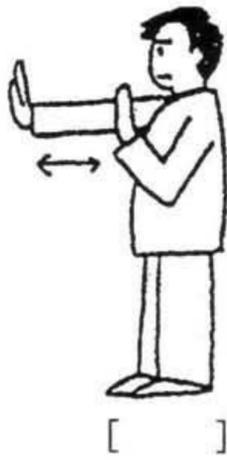
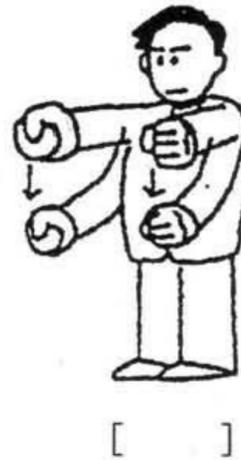
[6] 次の文は、講道館柔道試合審判規定第42条です。[]の中に適語を記入
して完成させなさい。 (10点)

試合者の一方が、初めから出場しないときは、他方を[]、試合中に
一方が棄権したときは、他方を[]、試合中に一方が[]
となったときは、他方を「負傷勝ち」、試合中に他方が「反則負け」となったときは
他方を「反則勝ち」、一方が「失格」となったときは、他方を「失格勝ち」とする。
これらは、第37条の[]をとったと同等にみなす。

[]又は[]によって「負け」となった試合者や、第43条(負傷等)
1.(2)号の相手を負傷させて[]となった試合者、及び相手の責任
で負傷して[]となった試合者は、その後の一連の試合に出場することが
[]。

[]又は「失格」によって「負け」となった試合者は、その後の一連の
試合に出場することが[]。

[7] 下図は、主審及び副審のジェスチャーを示したものです。該当するものを語群より選んで記号を記入しなさい。(10点)



語群

A・場内

C・主審の判定を適当と認めない

E・袖口に指を入れる

G・場外

I・極端な防御姿勢

K・寝技に引き込む

B・同側の襟と袖を握る

D・偽装的攻撃

F・合議の要求

H・相手と取り組まない

J・積極的戦意に欠ける

L・技の効果の宣告の取り消し